

1 単元名 幼児の生活と遊びを知ろう

東京書籍「技術・家庭科」

2 単元目標

- 幼児の遊びやおもちゃについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組むことができる。(関心・意欲・態度)
- おもちゃを選ぶときのポイントを考えることができる。(工夫・創造)
- 幼児に適したおもちゃを考えることができる。(生活の技能)
- 幼児の遊び、おもちゃについての重要性を理解する。(知識・理解)

3 指導計画

第1次 ともに生きる私達・・・・・・・・・・1時間

第2次 わたしたちの成長と家族・・・・・・・・・・14時間

- (1) 幼いころって何だろう・・・・・・・・・・2時間
- (2) 幼児の心身の発達を知ろう・・・・・・・・・・2時間
- (3) 幼児の生活と遊びを知ろう・・・・・・・・・・2時間(本時は第2時)
- (4) 子供にとっての家族を考えよう・・・・・・・・・・2時間
- (5) 中学生にとっての家族を考えよう・・・・・・・・・・3時間
- (6) 家族と地域との関係を考えよう・・・・・・・・・・3時間

4 指導上の立場

(1) 単元について

幼児期の生活は、現在、将来の基盤を作る大切なものである。その中でも遊びは幼児の生活にとって中心的な役割を占め、様々な能力を育てることができる。そして、おもちゃは遊びを発展・工夫させる大切な道具でもあり、ほとんどが周りの人から与えられる物である。このようなことから、客観的な立場に立ち、幼児に適したおもちゃを考えることにより、幼児を見守る一員としてのあり方を考え、自分自身の生活を振り返り、よりよく生きていこうとする姿勢も養いたい。

(2) 生徒の実態

真面目に授業に取り組む姿勢は多くの生徒に見られる。幼児期についての関心はなかなか持ちにくい年齢でもあるが、幼いころの写真や、夏休みの課題であった絵本の紹介などの時には和やかな雰囲気です授業を進めることもできた。普段の授業でも挙手が多いため、今回も建設的な意見交換ができることを期待している。

(3) 本時の指導のポイント

○予習内容

夏休みの課題として、幼児向けの絵本を製作した。  
自分が幼いころに遊んだおもちゃを調べてくる。

○教える

おもちゃの役割

○考える

おもちゃを与える際に必要なことを考える。

5 本時案（第2次第6時）

| 目 標   |           | 遊びを助けるおもちゃや安全な環境について、考えることができる。   |  |
|-------|-----------|---|--|
|       |           | 学 習 活 動   | 教 師 の 支 援  |
| 教える   | 説明<br>10分 | 1 前時までの学習内容を確認する。   | ○ 幼児にとって遊びそのものが生活の一部であり、様々な能力を引き出しているということを知らせる。<br><br>○ 幼児の遊びのきっかけとなり、想像力を広げ、遊びを豊かにしてくれるのがおもちゃであることを知らせる。<br><br>○ 自分達が幼いころに遊んだおもちゃにはどのようなものがあつたのかを思い出させる。 |
|       |           | 2 本時の学習内容を確認する。<br><br>自分が好きだったおもちゃについての思い出を発表させる。                            |  |
| 考えさせる | 15分       | 1 幼児にとってのおもちゃの役割を考える。   | ○ 家族はどんな思いでおもちゃを選ぶのかを考えさせる。<br><br>○ 市販のおもちゃにはどのような配慮がされているかを考える。  |
|       |           | 2 幼児にとってふさわしいおもちゃを選ぶポイントをまとめる。<br><br>3 今と昔のおもちゃを比較して、遊び方の変化とその理由や是非について話し合う。 |  |
| 理解深化  | 20分       | ○ 少子化、共働き家庭の増加、おもちゃの氾濫、ゲーム類の普及などの変化に気づかせ、その弊害について考えさせる。                       | ○ おもちゃがあふれていることが豊かな遊びではないことを理解させる。<br><br>○ 今の幼児に多い具体的な遊びのパターンをあげ、その課題と解決策について考えさせる。   |
|       |           | 1 おもちゃに頼らない遊びを考える。<br><br>2 今の幼児の遊びの課題点と解決策を考える。                              |  |
| 自己評価  | 5分        | 1 本時のまとめと振り返りをする。   | ○ ワークシートに自己評価と感想を書く。   |

- 1 幼児におもちゃを与えるときに、どのような思いで選びますか。

|  |
|--|
|  |
|--|

- 2 幼児向けのおもちゃにはどのような配慮がされていますか。

|  |     |
|--|-----|
|  | マーク |
|--|-----|

- 3 昔のおもちゃと今のおもちゃを比較してみよう。

|                | 昔(生まれる前・・・昭和のころ) | 今(皆が生まれたときから現在まで) |
|----------------|------------------|-------------------|
| おも<br>ち<br>ゃ   |                  |                   |
| おもちゃや遊びが変化した理由 |                  |                   |
| 今の遊びの弊害        |                  |                   |

- 4 おもちゃに頼らない遊びを考え、その利点は何かも考えましょう。また、その遊びをするためには今の時代に必要とされるものは何かも書きましょう。

|                     |            |
|---------------------|------------|
| おもちゃに頼らない遊び         | その遊びの良いところ |
| 安心してその遊びができるための条件など |            |

- 5 次の幼児の様子を読んで、どのような問題があるか、また、どうすればよいか、考えてみましょう。

**4歳のまさお君は、一人でテレビを見て過ごすことが多く、テレビゲームやコンピュータゲームが大好きで、1日2時間くらいしています。**

| 問 題 | 解 決 策 |
|-----|-------|
|     |       |

- 6 この授業を振り返っての反省と、わかったことを書きましょう。

|           |          |
|-----------|----------|
| 進んで取り組めたか | わかったことなど |
|-----------|----------|